

内容に変更のある該当ページは、以下のとおりです。

**【書籍名：小3 標準問題集 国語】**

本文	52～55, 57, 125
解答	11～12, 24

STEP 1  
ステップ1

1 次のローマ字の書き方で、正しいほうをえらんで、記号で書きなさい。

(5)	(3)	(1)
イ ア 1 2 2 → † 1 → †	イ ア 1 2 3 1 2 1 ↙ † ↘ 2 ↙ † ↘ 3	イ ア 1 1 1 ↓ † ↓ 1 ↓ † ↓
[ ]	[ ]	[ ]
(6)	(4)	(2)
イ ア 1 2 1 2 2 ↘ † ↙ 1 ↘ † ↙ 1 ↘ † ↙ 2	イ ア 1 1 1 ↓ † ↘ 1 ↓ † ↘	イ ア 1 2 2 1 1 ↓ † ↓ 2 ↓ † ↓
[ ]	[ ]	[ ]

(4) 百 円

{ ア hyakuen [ ]  
イ hākuen [ ]

(1) ぬりえ

{ ア nurie [ ]  
イ murie [ ]

(5) パン<sup>や</sup>屋

{ ア panya [ ]  
イ pan'ya [ ]

(2) 切 手

{ ア kitte [ ]  
イ kite [ ]

(6) 小学校

{ ア shōgakō [ ]  
イ shōgakkō [ ]

(3) お姉さん

{ ア onesan [ ]  
イ onēsan [ ]

2 次のローマ字の書き方で、正しいほうをえらんで、記号で書きなさい。

学習のねらい

わたしたちの身の回りのいろいろなところで使われているローマ字の書き方のままりをしつかりと身につけ、正しく読んだり書いたりできるようにします。

月 日 答え ↓ ページ 11 ページ

- (1) jikan  
[ ]
- (2) shippo  
[ ]
- (3) byōki  
[ ]
- (4) Rondon  
[ ]
- (5) kin'yōbi  
[ ]

**4** 次のローマ字の言葉を、かなに直して書きなさい  
(習った漢字は、漢字で書くこと)。

- (1) ! ・ ア 問<sup>と</sup>いかけ
- (2) - ・ イ 音<sup>おん</sup>を切る
- (3) ' ・ ウ 言<sup>こと</sup>葉<sup>ば</sup>をつなぐ
- (4) “ ” ・ エ 意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>を強める
- (5) ? ・ オ 文の意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>の切<sup>き</sup>れ目
- (6) - ・ カ 会 話
- (7) . ・ キ 文の終<sup>お</sup>わり
- (8) , ・ ク 音をのばす

**3** 次の記号は、どんなときに使<sup>つか</sup>いますか。線<sup>せん</sup>でつなぎなさい。

(1) わたし の すきな くだもの は、

.....  
-----  
.....

りんご と なし です。

.....  
-----  
.....

(2) 「今日 は どこ へ おでかけ ですか？」

.....  
-----  
.....

「おすめ と 本屋さん へ 行って きます。」

.....  
-----  
.....

(3) き<sup>なら</sup>のう、奈良 へ 行きました。

.....  
-----  
.....

たいせつ

**5** 次の言葉を、ローマ字で書きなさい。

ステップ2

1

次のローマ字の言葉を、かなに直して書きなさい(習った漢字は、漢字で書くこと)。(10点/一つ1点)

- (6) Sapporo [ ] (1) kokuban [ ]
- (7) sekken [ ] (2) otōsan [ ]
- (8) kon'ya [ ] (3) nichiyōbi [ ]
- (9) happyōkai [ ] (4) nyūsu [ ]
- (10) zen'in [ ] (5) enpitsu [ ]

2

次の言葉を、ローマ字で書きなさい(大文字を使うところは、大文字で書きなさい)。(28点/一つ2点)

- (8) きっぷ ..... (1) おばさん .....
- (9) 漢 字 ..... (2) お姉さん .....
- (10) じゅく語 ..... (3) 時 代 .....
- (11) 選 手 ..... (4) きゅうり .....
- (12) 出 発 ..... (5) 金 魚 .....
- (13) げんいん ..... (6) 病 院 .....
- (14) ピカソ ..... (7) 発 車 .....

Yoru, dokusho o shita.

“Gongitsune” ga, teppō de utareta tokoro dewa, me kara namida ga detekita.

Gon ga, kokoro o irekaete, Hyōjū no tokoro e, kuri ya matsutake o motte itta koto ga, watashi no kokoro kara hanarenai.

[Empty space for writing]

**3** 次のローマ字で書かれた日記文を、漢字やかなを使って書き直しなさい。(30点)

今日、母が出かけて、わたしだけが家にいると、先生が来られて、「お母さんはいますか？」とお聞きになりました。

[Dotted lines for writing]

**5** 次の文章を、ローマ字で書きなさい。(20点)

- (1) kitte [ ]
- (2) ningyō [ ]
- (3) ninjin [ ]
- (4) ehon [ ]
- (5) rikōdā [ ]
- (6) jōgi [ ]
- ア shoten
- イ yaoya
- ウ omochaya
- エ yūbinkyoku
- オ bunbōguya
- カ gakkiten

**4** 次の品物はどこで売っていますか。下からえらんで、記号で書きなさい。(12点/一つ2点)

**3**

次のローマ字の書き方で、正しいほうをえらんで、記号で書きなさい。(12点/一つ2点)

(1) イ ア  
  
 [ ]

(2) イ ア  
  
 [ ]

(3) イ ア  
  
 [ ]

(4) イ ア  
  
 [ ]

(5) イ ア  
  
 [ ]

(6) イ ア  
  
 [ ]

**4**

次の言葉を、ローマ字で書きなさい(大文字を使うところは、大文字で書きなさい)。(18点/一つ2点)

(18点/一つ2点)

- (1) hikōki [ ]
  - (2) chūrippu [ ]
  - (3) batta [ ]
  - (4) kirin [ ]
  - (5) imōto [ ]
  - (6) yūdachi [ ]
- ア kazoku  
 イ konchū  
 ウ norimono  
 エ dōbutsu  
 オ tenki  
 カ shokubutsu

**5**

次の言葉と関係のある言葉を下からえらんで、記号で書きなさい。(12点/一つ2点)

- (5) シャンプー  
 .....  
 .....  
 .....
  - (6) オーストラリア  
 .....  
 .....  
 .....
  - (7) 金曜日  
 .....  
 .....  
 .....
  - (8) ナポレオン  
 .....  
 .....  
 .....
  - (9) さいたま市しきたく北区  
 .....  
 .....  
 .....
- (1) ヨット  
 .....  
 .....  
 .....
  - (2) ビスケット  
 .....  
 .....  
 .....
  - (3) ギリシャ  
 .....  
 .....  
 .....
  - (4) 東京  
 .....  
 .....  
 .....

(3) 葉の表は、ざらざらである。

(4) 葉のまわりは、まるくない。

**5** 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

葉を落としてしまったクヌギは、かれ木のようにです。でも、枝さきについている小さな茶色の芽を切ってみると、なかは緑色で、生きいきしています。①これは春になって、花や葉になる冬芽です。それともうひとつ、冬芽とはすこし形のちがう、まるい芽がついている枝もあります。②これは、昨年の春に花がさいて実をむすんだ、ドングリの子です。  
(植 沙萌「ドングリ」(あかね書房刊))

(1) 線①・②の「これ」は、それぞれ何を指していますか。(10点/1つ5点)

①

②

(2) この文章を二つの段落に分けると、後半はどこから始まりますか。はじめの五字を書きなさい。

Blank box for writing the first five characters of the second paragraph.

(10点)

**6** 文がうまくつづくように、「」に番号を書きなさい。(10点)

さい。

そこへ、さつき切ったキャベツを入れて、よくねり合わせます。

今日は、おこのみやきの作り方をお話しします。

次に、小麦粉にたまごと水を入れて、よくまぜます。

最後に、それを、あつくしたプレートでやき上げます。

まず、キャベツを細かく切ります。

**7** 次の言葉を、ローマ字で書きなさい。(20点/1つ4点)

(1) おべんとう

Blank lines for writing the Roman numeral for 'おべんとう'.

(2) 救急車

Blank lines for writing the Roman numeral for '救急車'.

(3) 店員

Blank lines for writing the Roman numeral for '店員'.

(4) けっこん式

Blank lines for writing the Roman numeral for 'けっこん式'.

(5) アルゼンチン

Blank lines for writing the Roman numeral for 'アルゼンチン'.

(7)オ

4 (れい)㊦ノート・ランドセル

㊩アメリカ・ニューヨーク

㊨パンパン・カンカン

㊧ワンワン・モーモー

5 (1)アンテナ (2)ヨーグルト

(3)プラスチック (4)アイスクリーム

(5)ソーセージ (6)ブルドーザー

6 (1)トランペット (2)アンデルセン

(3)〇〇 (4)マツチ (5)コケコッコ

(6)〇 (7)スイッチ (8)ゴロゴロゴロ

(9)〇 (10)ポルトガル



考え方

1 「カ」と「か」、「セ」と「せ」、「ヤ」と「や」

など、かたかなとひらがなの字形がよくに

2 (3)かたかなでのばす音は、「ー」と書きま

6 (3)「ふわりふわり」は、(8)のような物の音

ではなく様子を表す言葉なので、ひらがな

## ステップ2

50〜51ページ

1 (1)ポスト・サッカー・ミシン・エスカ

レーター・フライパン

(2)エジプト・ピカソ・バルセロナ

(3)ボタン・ピヨピヨ

2 (1)くっしよん↓クツシヨ

びんく↓ピンク

(2)おむらいす↓オムライス

ぐりんぴいす↓グリーンピース

けちやつぶ↓ケチャップ

(3)べらんだ↓ベランダ

(4)ばん↓パン・わんわん↓ワンワン

3 (れい)㊩ペンギン・ライオン・ゴリ

ラ・パンダ

(2)トラック・バス・ヘリコプター

(3)ナイフ・スプーン・コップ・カメラ

(4)バナナ・トマト・プリン・ゼリー

(5)スキー・テニス

4 ロンドン・イギリス・ペダル・ハンド

ル・ロケット・ゴーゴー(ゴオゴオ)・

スピード・バス・プール・クロー



考え方

2 全部で八か所あります。(3)「ふかふか」は

様子を表す言葉なので、ひらがなで書きま

## 10 ローマ字

### ステップ1

52〜53ページ

1 (1)イ (2)ア (3)ア (4)ア (5)イ (6)ア

2 (1)ア (2)ア (3)イ (4)ア (5)イ (6)イ

3 (1)エ (2)ウ (3)イ (4)カ (5)ア (6)ク

(7)キ (8)オ

4 (1)時間 (2)しつぽ (3)病気

(4)ロンドン (5)金曜日

5 (1) Watashi no sukina kudamono

wa, ringo to nashi desu.

(2) "Kyō(ou) wa doko e odekake

desuka?"

"Musume to hon'ya-san e itte kimasu."

(3) Kinō(ou), Nara e kimashita.



考え方

2 (2)・(6)つまる音は、次にくる音のはじめの

字を重ねて書きます。(3)のばす音は、「e」

のように、「i」(のはす音のじるじ)をつけ

4 (5) n の後に音切りの記号があるので、「き

5 文のはじめと国名や地名は、はじめの文字

を大文字で書きます。(2)「本屋さん」は、

「hon'ya-san」(ほんやさん)とならないように

音切りの記号をつけます。また、ほかの言

### ステップ2

54〜55ページ

1 (1)黒板 (2)お父さん (3)日曜日

- ④ ニューズ (5) えん筆 (6) ざつぽろ  
 (7) 石けん (8) 今夜 (9) 発表会 (10) 全員
- ② (1) obasan (2) onē(lee) san (3) jidai  
 (4) kyū(uu) ri (5) kingyo (6) byō(ou) in  
 (7) haasha (8) kippu (9) kanji  
 (10) jukugo (11) senshu  
 (12) shuppatsu (13) gen'in  
 (14) pikaso
- ③ 夜、読書をした。  
 「どんぎつね」が、鉄ぼうでうたれたところでは、目からなみだが出てきた。ごんが、心を入れかえて、ひょうじゅう(兵十)のところへ、くりやまつたけを持っていったことが、わたしの心からはなれない。
- ④ (1) エ (2) ウ (3) イ (4) ア (5) カ (6) オ
- ⑤ Kyō(ou), haha ga dekakete, watashi dake ga ie ni iruto, sensei(ē) ga korarete, "Okā(oo) san wa imasuka?" to okini narimashita.

**考え方**

- ② (7)「は・っ・しゃ」、(12)「ゆ・っ・せ・っ」と考えて書きます。(2)・(4)・(6)はのばす音また(は)は音切りの記号をわすれずに書きま
- ③ 前後の言葉や文のつながりにも気をつけて書き直します。

- ④ (1)〜(6)、ア〜カのローマ字を正しく読んでから考えます。(1)切手、(2)人形、(3)にんじん、(4)絵本、(5)リコーダー、(6)じょうぎで、ア書店、イ八百屋、ウおもちゃ屋、エゆうびん局、オぶんぼうぐ屋、カ楽器店となります。

**9-10**  
**ステップ3**

56〜57ページ

- ① (れい)(1)ハワイ・パリ・ニューヨーク・イギリス  
 (2)テレビ・コンピューター・ボール・サッカー  
 (3)トントン・ガチャン・ワンワン・ニヤーニヤー
- ② (文中のそれぞれのひらがなを――で消して)  
 (1)ブルミッド・エジプト・アフリカ  
 (2)カナリア・ピーピー(パイパイ)  
 (3)レンジ・ハンバーガー・スープ  
 (4)チワワ・キャンキャン  
 (5)マイケル・アメリカ・フットボール  
 (6)エジソン・フィラメント  
 (7)パソコン・インターネット
- ③ (1) イ (2) イ (3) イ (4) イ (5) ア (6) イ
- ④ (1) yotto (2) bisuketto  
 (3) Girisha (4) Tōkyō(Toukyou, Tokyo)

- (5) shanpu(uu) (6) Ō(Oo) sutoraria  
 (7) kin'yōbi (8) Naporeon  
 (9) Saitama-shi kita-ku
- ⑤ (1) ウ (2) カ (3) イ (4) エ (5) ア (6) オ

**考え方**

- ① この三分野が、かたかなで表記するきまりであることをわかいました。
- ② ①の(1)〜(3)に当たる言葉は、すべてかたかなで書きます。
- ④ ローマ字で書くとき、「ツ」や「ヤ」などの表記は、いちばんまちがえやすいところ。注意して書きましょう。また、(3)・(4)・(6)・(8)・(9)の国名・地名・人名などの頭文字は、大文字で書きます。
- ⑤ (1)飛行機、(2)チューリップ、(3)バッタ、(4)きりん、(5)妹、(6)夕立、ア家族、イこん虫ウ乗り物、エ動物、オ天気、カ植物となります。

**11**  
**こそあど言葉**

**ステップ1**

58〜59ページ

- ① (1) ウ (2) イ (3) ア (4) ウ (5) イ (7) ア
- ② (1) イ (2) ウ (3) ウ (4) イ (5) ア (6) イ
- ③ (1) イ (2) ア (3) イ (4) ウ (5) ア
- ④ どの・その・その・あの

- 4 (1)のうそん (2)ほうそう (3)あんてい  
 (4)どうわ (5)きゆうそく (6)ちゆうい  
 (7)たにん (8)きもの (9)びよういん  
 (10)えきまえ (11)はんたい (12)やきゆう  
 (13)やね (14)しようひん (15)かいがん  
 (1)ても (2)が (3)ながら  
 (1)エ (2)ア (3)イ (4)ウ (5)オ



考え方

7 「しじぶ」は「いやいや」、「せっせと」は「休まず、いそがしく行う様子」の意味です。この意味に合うように、主語、述語を考えて文を作ります。



ついでに練習テスト②

124〜125ページ

- 1 (右から) (1)1・3・2 (2)3・2・1  
 (3)1・3・2 (4)3・1・2  
 2 運動・当番・石油・整理・医者・神社  
 (2)一つずつ (3)おちきい  
 (6)ねいさん  
 (れい) (1)五まいになった  
 (2)たがいがいに生えている  
 (3)ざらざらで、細かい毛が生えている

- 4 (1)ぎざぎざになっている  
 (2)まるい芽  
 (1)①小さな茶色の芽 ②まるい芽  
 (2)それとも  
 (右から) 4・1・3・5・2  
 (1) obento (ou)  
 (2) kyukyusha  
 (3) tenin  
 (4) kekkonshiki  
 (5) Aruzenchin



考え方

1 一字目が同じなので、二字目でくらべます。(2)三字目でくらべます。(3)ひらがな↓かたかなの順、清音↓濁音の順になります。(4)かたかなの長音は、その前の音を長くのばしたときの母音におきかえて考えます。

7 (1)・(2)のばす音のしるしをわすれないように注意します。(3)「tenin」(てにん)としなように注意します。(5)国名・地名や人名は、はじめの文字は大文字で書きます。



ついでに練習テスト③

126〜128ページ

- 1 (1)手でつかんで食べていた。  
 (2)おはし・フォーク・ナイフ  
 (3)スプーン(れんげ)  
 (4)イ・ウ (5)エ

- 2 (1)主語・述語の順に①イ・カ  
 ②ウ・カ ③ウ・カ  
 (2)ア (3)エ・オ  
 (1)取る・分ける (2)聞く・返す  
 (3)話す・かける (4)運び出す  
 (5)投げつける  
 旅↓族・想↓相・注↓柱・薪↓真  
 (1)「このおとてにちようどいい手ぶくる、ください。」  
 「先にお金をください。」  
 (2)「れい」きつねの手が、手ぶくるをくださいと言うから。  
 (3)かち合わせてみると、チンチンとよい音がしたから。  
 (4)「れい」人間はきつねを鉄ぼうでうつたり、つかまえたりするから。



考え方

1 (3)文中にその名前は出ていませんが、「しるのあるもの」ですから、ふだん使っている食器の中から、スプーンやれんげを思い浮かべましょう。(4)前の段落の中の「……くふうするようになった」「……くふうをしてきた」という言い方に注目しましょう。  
 (4)答えの「れい」のほか、「お母さん自身が、人間におそろしいめにあわされたから。」のような答えでもよいです。